

令和 5 年度
全国学力・学習状況調査

解説資料

児童生徒一人一人の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実に向けて

中学校 英語



令和 5 年 5 月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

目 次

令和5年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について	1
I 中学校英語の調査問題作成に当たって	4
II 調査問題一覧表	8
III 調査問題の解説（出題の趣旨、解説、解答類型等）	11
●聞くこと、読むこと、書くこと	
1 情報を正確に聞き取る	12
2 目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る	16
3 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る	19
4 短い説明の要点を捉える	22
5 情報を正確に読み取る	24
6 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る	28
7 文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉える	30
8 短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く	34
9 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書く	39
10 まとまりのある文章を書く	46
●話すこと	
1 即興で伝え合うとともに、考えとその理由を述べ合う	50
2 説明を聞いて、考えとその理由を話す	60
IV 解答用紙（正答（例））	63
V 点字問題（抜粋）	67
VI 拡大文字問題（抜粋）	71

令和5年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

◆ 目的

本資料は、令和5年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したものです。

◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される解答の解説、学習指導の改善・充実を図るための情報等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、小学校においては第5学年まで、中学校においては第2学年までに、十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる領域・内容を出題していますので、調査の対象学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考とすることができます。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、調査問題を日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理した「解答類型」を設けています。

「解答類型について」で、つまずきの分析ができるように解答類型の説明をしています。正誤だけではなく、一人一人の解答の状況（どこでつまずいているのか）等に注目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

関連する過去の調査の解説資料や報告書等の該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて活用すると一層効果的です。

※過去の解説資料・報告書等は、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

◆ 本資料の活用に当たって

I 調査問題作成に当たって

調査問題作成の基本理念、調査問題作成の枠組みについて解説しています。

II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の領域・内容、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

Ⅲ 調査問題の解説

調査問題について、出題の趣旨、解説（学習指導要領における領域・内容、解答類型）等を記述しています。（問題によっては、記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。
※著作権の都合により一部を省略しているものもあります。

1. 出題の趣旨

問題ごとに出題の意図、把握しようとする力、場面設定などについて記述しています。

2. 解説

趣旨

問題ごとの出題の意図、把握しようとする力などを示しています。

■学習指導要領における領域・内容

調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるように、関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

■評価の観点

問題に関する評価の観点を示しています。

解答類型（下欄の*を参照）

児童生徒一人一人の解答状況を把握することができるように、問題における解答類型を示しています。

※図はイメージです。

教科名

問題画像

1. 出題の趣旨

.....
.....

2. 解説

設問

趣旨

.....

■学習指導要領における内容
〔第〇学年〕

■評価の観点

解答類型

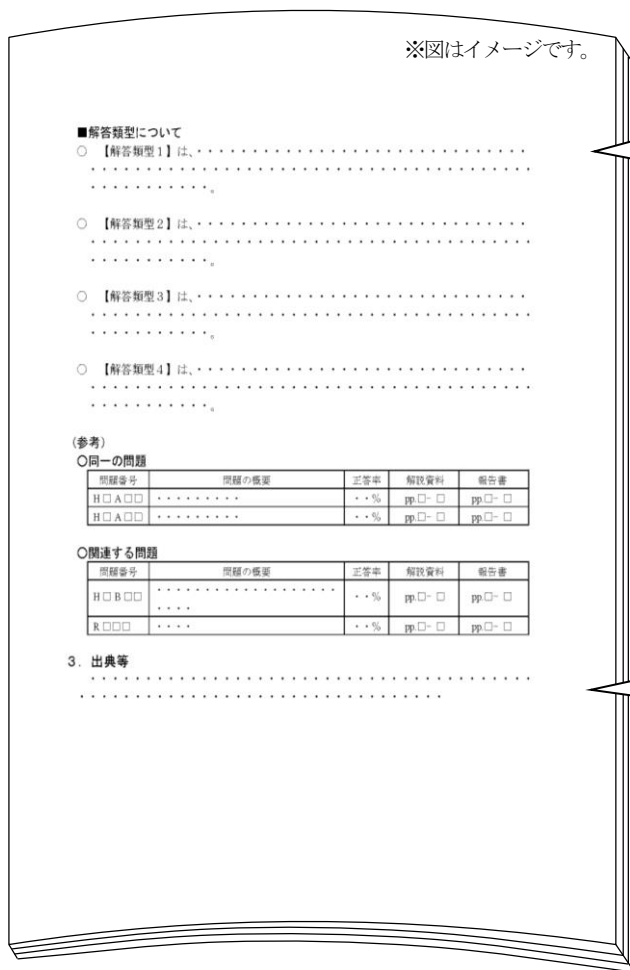
問題番号	解答類型	正答
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/> 1	<input checked="" type="radio"/>
	<input type="radio"/> 2	
	<input type="radio"/> 3	
	<input type="radio"/> 4	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

* 児童生徒一人一人の解答状況を把握するために

<解答類型> 児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理したものです。解答例を示すとともに、「解答類型について」の解説を加えていますので、児童生徒一人一人の解答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

<正答> 「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答
「○」…問題の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

<類型番号> 類型 1～38（最大）… 正答・予想される解答
（複数の類型が正答となる問題もある）
類型 99 … 「上記以外の解答」
（類型 1～38 までに含まれない解答）
類型 0 … 「無解答」（解答の記入のないもの）



■解答類型について
予想される解答から、身に付いている力や考えられるつまづき等を記述しています。

(参考)
過去の関連する問題、解説資料、報告書等を記載しています。
※平成 25 年度から令和 3 年度の調査問題は、学習指導要領（平成 20 年告示）の目標及び内容に基づき作成されています。

3. 出典等
著作物からの出題の場合に、出典及び著作権者等について示しています。また、問題作成に当たって参考としたものについても示しています。

IV 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

V 点字問題（抜粋）

点字問題の一部を、当該問題の解答類型及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

VI 拡大文字問題（抜粋）

拡大文字問題の一部を、当該問題の通常問題及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

※本資料では、以下の資料については略称を用いています。

資料	略称
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 報告書 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】報告書」
「令和○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「令和○年度【○学校】解説資料」
「令和○年度 全国学力・学習状況調査 報告書 ○学校 ○○」	「令和○年度【○学校】報告書」

I 中学校英語の調査問題作成に当たって

中学校英語の調査問題作成に当たって

1 調査問題作成の基本理念について

「全国的な学力調査の今後の改善方策について（まとめ）」（平成29年3月）では、「全国学力・学習状況調査の調査問題については、新しい学習指導要領が求める育成を目指す資質・能力を踏まえ、それを教育委員会や学校に対して、具体的なメッセージとして示すものとなるよう検討を進める。」としている。

平成29年3月に公示された中学校学習指導要領（平成29年告示。以下「学習指導要領」という。）は、教科等の目標や内容について、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」という三つの柱に基づいて再整理されており、これらの資質・能力の三つの柱は相互に関係し合いながら育成されるものという考え方に立っている。

平成31年度（令和元年度）以降の調査問題では、こうした学習指導要領の考え方への各教育委員会や各学校の理解を促すため、従来の「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」に区分するといった整理を見直して、一体的に調査問題を構成することとした。

なお、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」（平成18年4月）では、具体的な調査問題の作成に当たって、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としていることにも留意する必要がある。

以上の点等を踏まえ、本調査の調査問題は、国際的な学力調査の考え方や調査結果及び課題等も考慮しつつ、学習指導要領に示された外国語科（英語）の目標及び内容等に基づいて作成することを基本とした。

中学校英語の調査については、全国的な学力調査に関する専門家会議がまとめた「全国学力・学習状況調査における中学校の英語の実施に関する最終報告」（平成29年3月）を踏まえ、平成31年度調査からおおむね3年に一度実施している。

2 調査問題作成の枠組み

（1）学習指導要領の領域・内容と評価の観点について

学習指導要領に示されている五つの領域（「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」）別の目標及び内容に基づき、全ての領域からバランスよく出題されるよう配慮している。なお、中学校第2学年までの内容となるようにしている。

また、評価の観点としては、「知識・技能」、「思考・判断・表現」に関わるものを出題した。

（2）調査問題について

調査問題の作成に当たっては、問題作成の基本理念に立った上で、調査問題作成の枠組みを次のように整理し、「知識及び技能」を測ることに加え、それらをコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて活用できる「思考力、判断力、表現力等」を測ることを重視している。なお、学習指導要領の目標に基づき、五つの領域ごとの問題に加え、領域を統合した問題も出題している。

表 調査問題作成の枠組み

測る力		評価の観点	領域・内容	評価の対象
知識及び技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能	知識・技能	・英語の特徴やきまりに関する事項 ・言語の働きに関する事項	・音声 ・符号 ・語、連語及び慣用表現 ・文、文構造及び文法事項 ・言語の働き
				・聞く技能 ・読む技能 ・話す[やり取り]技能 ・話す[発表]技能 ・書く技能
思考力、判断力、表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力	思考・判断・表現	聞くこと	・必要な情報を聞き取る力 ・概要や要点を捉える力
			読むこと	・必要な情報を読み取る力 ・概要や要点を捉える力
			話すこと[やり取り]	・事実や自分の考え、気持ちなどを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする力 ・聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを述べ合う力
			話すこと[発表]	・まとまりのある内容を話す力 ・聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを話す力
			書くこと	・まとまりのある文章を書く力 ・聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを書く力

(3) 問題形式について

問題の形式は、選択式、短答式（含む短答式／口述式）、記述式（含む記述式／口述式）の3種類としている。また、「話すこと」の調査については、ICT端末等を活用し、オンラインにて行う音声録音方式としている。

◆点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題等の作成について

本調査では、視覚障害等のある児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒等に配慮した調査問題（点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題）を作成している。また、調査時間を延長した点字版（約1.5倍）、拡大文字版（約1.3倍）及び時間延長版（約1.3倍）の「聞くこと、読むこと、書くこと」調査用CDと、特別な配慮を必要とする生徒のための「話すこと」調査問題プログラムを作成している。

点字問題では、全体を点訳するとともに、点字による図版等の認知に伴う負担等を考慮し、図版等の情報の精査（グラフを表にしたり、記述による説明に替えたりするなど）を行ったり、出題の趣旨を踏まえつつ代替問題を作成したりするなどの配慮を行っている。

拡大文字問題では、対象となる児童生徒の見え方やそれに伴う負担等を考慮し、文字や図版等を拡大するとともに、文字のフォントや図版等の線の太さ・濃さ、コントラスト、レイアウト等を変更するなどの配慮を行っている。

なお、令和5年度中学校英語「話すこと」調査における、視覚障害等のある生徒及び日本語指導が必要な生徒等に配慮した調査問題プログラムは次のとおりである。

・点字問題プログラム（解答時間1.5倍）

主に、視覚障害のある生徒を対象とするプログラム。

・拡大文字問題プログラム（解答時間1.3倍）

主に、視覚障害のある生徒を対象とするプログラム。

・スクリーン表示問題プログラム（解答時間1.3倍）

主に、聴覚障害のある生徒を対象とするプログラム。問題音声の内容が画面上に文字として表示される。

・代筆解答プログラム

聴覚障害、肢体不自由、病弱、場面かん黙等で、口述でプログラムに直接解答することが難しい生徒への配慮として、教員等代筆者が生徒の代わりに解答を入力できるプログラム。

・時間延長問題プログラム（解答時間1.3倍）

主に、肢体不自由、病弱等その他の障害のある生徒を対象とするプログラム。

・ルビ振り問題プログラム（解答時間1.3倍）

主に、日本語指導が必要な生徒を対象とするプログラム。

II 調查問題一覽表

調査問題一覧表【中学校英語】

●聞くこと、読むこと、書くこと

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式		
			聞 く こ と	読 む こ と	話 す こ と 「 や り 取 り 」	話 す こ と 「 発 表 」	書 く こ と	知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主 体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	選 択 式	短 答 式 / 口 述 式	記 述 式 / 口 述 式
①	(1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○ ※1					○		○		
	(2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する		○ ※1					○		○		
	(3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する		○ ※1					○		○		
②		忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○		○		
③		バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○		○		
④		水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○		○		
⑤	(1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○ ※1					○		○		
	(2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる	○ ※1					○		○		
⑥		友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	ア					○		○		
⑦	(1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○ ※1					○		○		
	(2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる	イ					○		○		
⑧	(1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○		○		
	(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる				ウ		○			○	

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式		
			聞 く こ と	読 む こ と	話 す こ と 「 やり 取り 」	話 す こ と 「 発 表 」	書 く こ と	知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	選 択 式	短 答 式 / 口 述 式	記 述 式 / 口 述 式
9	① 与えられた英語を適切な形に変えたり、 不足している語を補ったりして、会話が 成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正 確に書くことができるかどうかをみる					ア	○				○	
		疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数 過去形の疑問文を正確に書くことがで きるかどうかをみる					ア	○				○	
	② メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働 きを理解し、依頼する表現を正確に書 くことができるかどうかをみる					ア	○				○	
10	学校生活（行事や部活動など）の中から 紹介したいものを1つ取り上げ、それを 説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の 考えなどを整理し、まとまりのある文 章を書くことができるかどうかをみる					イ		○			○	

●話すこと

1	(1)	動物園でのやり取りの中で、留学生の質 問を受け、ゾウの誕生日を伝える	日付に関する基本的な表現を理解する とともに、その知識をやり取りの場面 において活用できる技能を身に付けて いるかどうかをみる			ア			○			○
	(2)	動物園でのやり取りの中で、留学生の質 問を受け、次の予定を伝える	未来表現 (be going to) を理解すると ともに、その知識をやり取りの場面 において活用できる技能を身に付けてい るかどうかをみる			ア			○			○
	(3)	動物園でのやり取りの中で、カンガルー が食べるものについて留学生に質問する	疑問文の特徴を理解するとともに、そ の知識をやり取りの場面において活用 できる技能を身に付けているかどうか をみる			ア			○			○
	(4)	動物園でのやり取りの中で、留学生の質 問を受け、お土産としてふさわしいもの とその理由を伝える	日常的な話題に関して聞いたことにつ いて、考えとその理由を述べ合うこと ができるかどうかをみる			ウ ※2			○			○
2	環境問題についてのプレゼンテーショ ンを聞き、話し手の意見に対する自分の考 えとその理由を伝える	社会的な話題に関して聞いたことにつ いて、考えとその理由を話すことがで きるかどうかをみる						○			○	

※1 「学習指導要領の領域」における「○」は、五つの領域別の目標に分類されない「知識及び技能」を示している。

※2 「話すこと【やり取り】」における「ウ」は、「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」であるが、生徒の学習段階を考慮し「日常的な話題」に置き換えて出題した。

Ⅲ 調査問題の解説

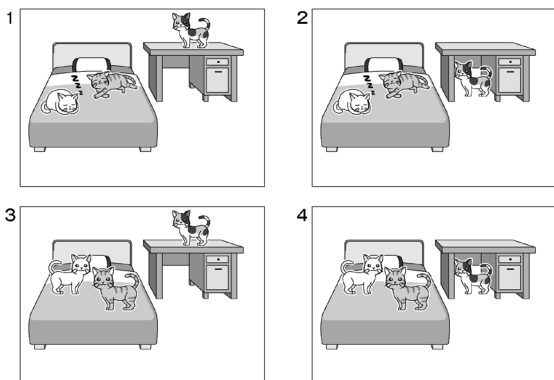
(出題の趣旨、解説、解答類型等)

●聞くこと、読むこと、書くこと
英語 1 情報を正確に聞き取る

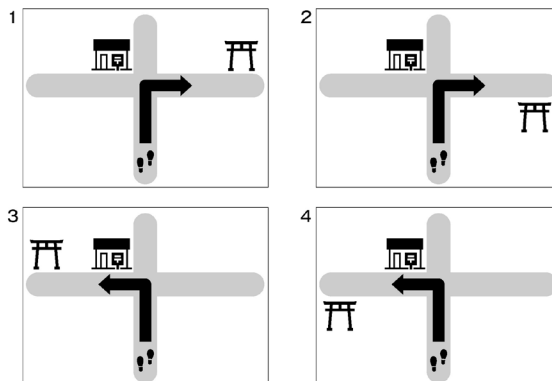
1 (放送問題)

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

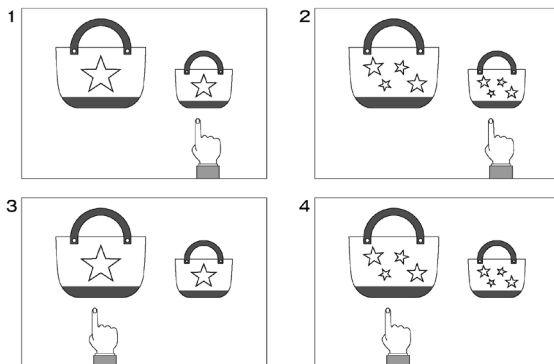
(1)



(2) <道案内>



(3) <買物>



(スクリプト)

(1) Look at this picture. There are three cats. You can see a cat under the desk. And the other cats are on the bed. They are sleeping.

(2) A: Excuse me. Can you tell me the way to the shrine?

B: Sure. Go straight and walk for about five minutes. When you see the post office, turn right. Keep walking, and the shrine is on your left.

A: I see. Thank you.

(3) A: Hello. May I help you?

B: Yes, please. I want to buy a new bag.

A: O.K. How about this bag with some stars on it? It's very popular.

B: It's nice! I'll take the bigger one.

1. 出題の趣旨

情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる。

情報を正確に聞き取るためには、音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けておくことが重要である。本問は、主に「技能」の側面に焦点を当て、設問（１）、（２）、（３）を通して、文における基本的なイントネーションや文における区切りなどの音声の特徴を踏まえて、情報を正確に聞き取ることができるかどうかを把握することをねらいとしている。

設問（１）は、ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題である。部屋の中の様子を描写する英語を聞き、情報を聞き取ることができるかどうかを把握するために出題した。

設問（２）は、道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題である。目的地までの道順を説明する英語を聞き、情報を聞き取ることができるかどうかを把握するために出題した。

設問（３）は、買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題である。店員と客の会話を聞き、情報を聞き取ることができるかどうかを把握するために出題した。

■学習指導要領における領域・内容

聞くこと

内容（１）英語の特徴やきまりに関する事項

ア 音声

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

2. 解説

設問（１）

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
①	(1)	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	◎
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型 1】は、部屋の中の様子を描写する英語を聞き、They are sleeping という情報を聞き取ることはできているが、under the desk という情報を聞き取ることができていないと考えられる。または、位置に関する表現を十分に理解していないと考えられる。
- 【解答類型 2】は、部屋の中の様子を描写する英語を聞き、under the desk と They are sleeping という情報を聞き取ることができている。
- 【解答類型 3】は、部屋の中の様子を描写する英語を聞き、under the desk と They are sleeping という情報を聞き取ることができていないと考えられる。または、位置に関する表現や状態に関する表現を十分に理解していないと考えられる。
- 【解答類型 4】は、部屋の中の様子を描写する英語を聞き、under the desk という情報を聞き取ることはできているが、They are sleeping という情報を聞き取ることができていないと考えられる。または、状態に関する表現を十分に理解していないと考えられる。

設問 (2)

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
1	(2)	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型 1】は、目的地までの道順を説明する英語を聞き、turn right と on your left という情報を聞き取ることができている。
- 【解答類型 2】は、目的地までの道順を説明する英語を聞き、turn right という情報を聞き取ることはできているが、on your left という情報を聞き取ることができていないと考えられる。または、方向に関する表現を十分に理解していないと考えられる。
- 【解答類型 3】は、目的地までの道順を説明する英語を聞き、turn right と on your left という情報を聞き取ることができていないと考えられる。または、方向に関する表現を十分に理解していないと考えられる。
- 【解答類型 4】は、目的地までの道順を説明する英語を聞き、on your left という情報を聞き取ることはできているが、turn right という情報を聞き取ることができていないと考えられる。または、方向に関する表現を十分に理解していないと考えられる。

設問（3）

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
1	(3)	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

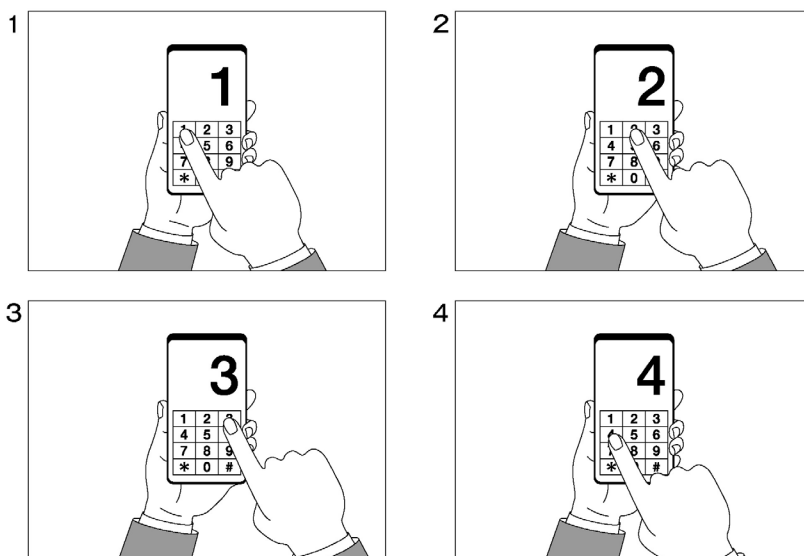
■解答類型について

- 【解答類型1】は、店員と客の会話を聞き、with some stars と the bigger one という情報を聞き取ることができていないと考えられる。または、数量に関する表現や比較表現を十分に理解していないと考えられる。
- 【解答類型2】は、店員と客の会話を聞き、with some stars という情報を聞き取ることではできているが、the bigger one という情報を聞き取ることができていないと考えられる。または、比較表現を十分に理解していないと考えられる。
- 【解答類型3】は、店員と客の会話を聞き、the bigger one という情報を聞き取ることではできているが、with some stars という情報を聞き取ることができていないと考えられる。または、数量に関する表現を十分に理解していないと考えられる。
- 【解答類型4】は、店員と客の会話を聞き、with some stars と the bigger one という情報を聞き取ることができている。

英語 2 目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る

2 (放送問題)

あなたは買物からの帰宅後、ショッピングセンターに傘を忘れたことに気が付きました。電話で問合せをしたところ、自動音声案内につながりました。流れてくる音声メッセージを聞き、あなたが選択すべき番号として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。



(スクリプト)

This is ABC shopping center. Thank you for calling. How can we help you? If you want to know our opening hours, please choose number 1. If you want to join our shopping club, please choose number 2. If you lost something in our shopping center, please choose number 3. If you have any questions about shops and restaurants in our shopping center, please choose number 4.

1. 出題の趣旨

日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる。

「必要な情報を聞き取る」とは、複数の情報が含まれるまとまりのある内容の英語を聞き、話されることの全てではなく、聞き手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報などを聞き取ることである。そのためには、話されることの全てを聞き取ろうとするのではなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて必要な情報を聞き取ったり、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるのか判断した上で聞き取ったりすることが求められる。

本問では、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて必要な情報を聞き取ることができるかどうかを把握するために、忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択するという問題とした。

■学習指導要領における領域・内容

聞くこと

ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

聞くこと

(イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
2	1	1 と解答しているもの	
	2	2 と解答しているもの	
	3	3 と解答しているもの	◎
	4	4 と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、If you want to know our opening hours, please choose number 1.という情報が自分にとって必要であると判断している。このことから、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、If you want to join our shopping club, please choose number 2.という情報が自分にとって必要であると判断している。このことから、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、If you lost something in our shopping center, please choose number 3.という情報が自分にとって必要であると判断している。このことから、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができていると考えられる。
- 【解答類型4】は、忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、If you have any questions about shops and restaurants in our shopping center, please choose number 4.という情報が自分にとって必要であると判断している。このことから、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H31 <input type="checkbox"/>	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する	82.3%	pp.21-22	pp.29-30

英語 ③ 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る

③ (放送問題)

あなたはイングリッシュキャンプに参加しています。これから、2班のリーダーとして明日のバーベキューパーティーについて説明を聞くところです。説明を聞いたあと、質問が放送されます。質問の答えとして最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 To tell your group members about your group's job.
- 2 To make the fire and cook rice.
- 3 To cut the vegetables and the meat.
- 4 To cut the vegetables and set the tables.

(スクリプト)

Tomorrow, we will have a barbecue party. We have three groups. Each group has a job. Group leaders, don't forget to tell your group members about your group's job. Group 1, can you make the fire and cook rice? Groups 2 and 3, please cut the vegetables together. After you finish cutting the vegetables, Group 2 cut the meat, and Group 3 set the tables for all the groups. Do you have any questions? If you have any questions, please ask me later.

Question: What is your group's job at the barbecue party?

1. 出題の趣旨

日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる。

「必要な情報を聞き取る」とは、複数の情報が含まれるまとまりのある内容の英語を聞き、話されることの全てではなく、聞き手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報などを聞き取ることである。そのためには、話されることの全てを聞き取ろうとするのではなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて必要な情報を聞き取ったり、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるのか判断した上で聞き取ったりすることが求められる。

本問では、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取ることができるかどうかを把握するために、バーベキューパーティーの説明を聞いた後に質問が放送される問題とした。

なお、本問と大問2は、出題の趣旨において「必要な情報を聞き取る」という点では共通しているが、大問2では「目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る」のに対し、本問では「自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る」という点で異なっている。目的に応じて必要な情報を聞き取ることだけでなく、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取ることも大切であることから両者を出題した。

■学習指導要領における領域・内容

聞くこと

ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

聞くこと

(イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
3	1	1 と解答しているもの	
	2	2 と解答しているもの	
	3	3 と解答しているもの	◎
	4	4 と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、2班のリーダーとして説明を聞いていく中で、Group leaders, don't forget to tell your group members about your group's job.という情報を聞き取り、「自分たちの班が担当する仕事内容を把握することが必要である」という自分の置かれた状況を判断することができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、2班のリーダーとして説明を聞いていく中で、「自分たちの班が担当する仕事内容を把握することが必要である」という状況を判断することはできていると考えられる。しかし、Group 1, can you make the fire and cook rice?という情報が自分にとって必要であると判断している。
- 【解答類型3】は、2班のリーダーとして説明を聞いていく中で、「自分たちの班が担当する仕事内容を把握することが必要である」という状況を判断することができていると考えられる。さらに、After you finish cutting the vegetables, Group 2 cut the meat, (and Group 3 set the tables for all the groups.)という情報が自分にとって必要であると判断している。このことから、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができていると考えられる。

- 【解答類型4】は、2班のリーダーとして説明を聞いていく中で、「自分たちの班が担当する仕事内容を把握することが必要である」という状況を判断することはできていると考えられる。しかし、**After you finish cutting the vegetables, (Group 2 cut the meat, and) Group 3 set the tables for all the groups.**という情報が自分にとって必要であると判断している。

英語 4 短い説明の要点を捉える

4 (放送問題)

あなたのクラスは、シンガポールにある姉妹校の生徒たちと、オンラインで地域の課題について意見交換をしています。これから、姉妹校の生徒であるジェニーの話聞くところです。ジェニーが最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 There isn't enough water in Singapore.
- 2 Doing something to save water is important.
- 3 I take showers for only five minutes each time.
- 4 One of my friends uses rain water for the plants in his room.

(スクリプト)

Hi, I'm Jenny. Today, I'm going to share our ideas about a water problem in our country. There isn't enough water in Singapore. My classmates and I talked about this problem at school. We all said, "We cannot do something big, but doing something to save water is important for even junior high school students." For example, I take showers for only five minutes each time. Also, I turn off the water when I brush my teeth. One of my friends uses rain water for the plants in his room. We are all trying to do something to save water. What do you think?

1. 出題の趣旨

社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる。

「要点を捉える」とは、話し手が伝えようとする最も重要なことは何であるかを判断して捉えることである。そのためには、ある程度の情報が入ったまとまりのある説明文などから、より重要な情報は何かを判断する必要がある。

本問では、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかを把握するために、シンガポールの水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する問題とした。

■学習指導要領における領域・内容

聞くこと

ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

聞くこと

(エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を聞き取る活動。また、その内容を英語で説明する活動。

2. 解説

解答類型

問題番号	解答類型	正答
4	1 1 と解答しているもの	
	2 2 と解答しているもの	◎
	3 3 と解答しているもの	
	4 4 と解答しているもの	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、水問題について姉妹校の生徒の話を読み、話の主題である地域の課題について述べている *There isn't enough water in Singapore.* が話し手の最も伝えたいことであると判断している。このことから、短い説明の要点を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、水問題について姉妹校の生徒の話を読み、姉妹校の生徒たちの考えについて述べている (*We cannot do something big, but) doing something to save water is important (for even junior high school students.)* が話し手の最も伝えたいことであると判断している。このことから、短い説明の要点を捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型3、4】は、水問題について姉妹校の生徒の話を読み、具体的な取組について述べている (*For example,) I take showers for only five minutes each time.* や *One of my friends uses rain water for the plants in his room.* が話し手の最も伝えたいことであると判断している。このことから、短い説明の要点を捉えることができていないと考えられる。

3. 出典等

シンガポールの水問題については、PUB SINGAPORE'S NATIONAL WATER AGENCY「Singapore Water Story」のウェブページを参考にした。

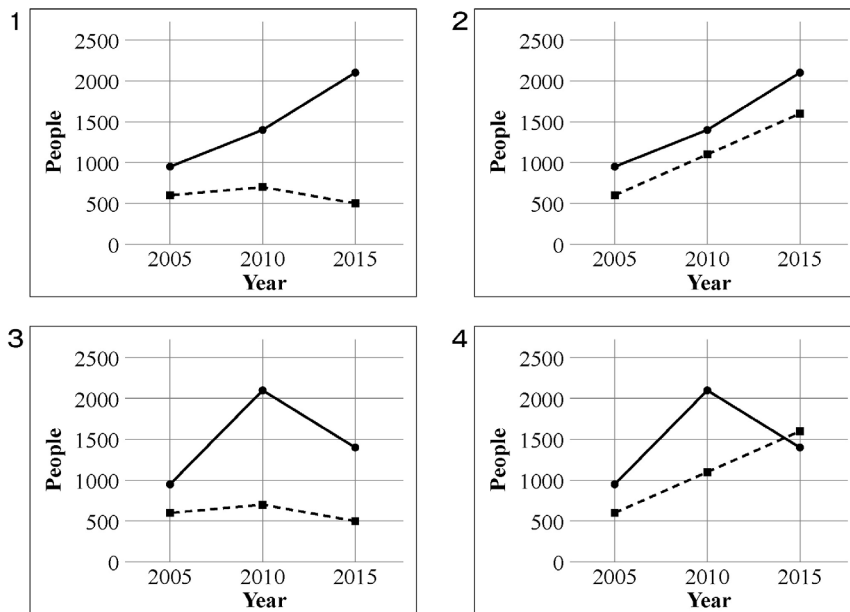
英語 5 情報を正確に読み取る

5

(1) 次の英文を読んで、その内容を最も適切に表しているグラフを、下の1から4までのの中から1つ選びなさい。

In 2005, about 1,000 tourists from abroad came to Minami City. During the next ten years, the number went up. Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up.

— : Tourists from abroad to Minami City
 ---- : Tourists from Minami City to other countries



(2) 次の英文には、事実や考えが書かれています。考えが書かれている英文を、下線部1から4までのの中から1つ選びなさい。

There is a mountain in our city. It is 815 meters high. I went there
 1 2
this summer with my family. I saw a lot of garbage. I was surprised to
 see it. We cleaned the place for about 30 minutes. Everyone should
 3 4
bring their garbage back home.

1. 出題の趣旨

情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる。

情報を正確に読み取るためには、音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けておくことが重要である。本問は、短い文章の中で、語彙や文法事項、言語の働きなどの知識を活用し、情報を正確に読み取ることができるかどうかを把握することをねらいとしている。

設問（1）は、ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する問題である。ある市における海外からの観光客と海外に行く観光客の人数の推移を描写する英文から、情報を正確に読み取ることができるかどうかを把握するために出題した。

設問（2）は、事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する問題である。事実と考えを区別して読むことは、情報を正確に読み取るための重要な技能の一つである。「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかを把握するために出題した。

2. 解説

設問（1）

趣旨

情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

内容（1）英語の特徴やきまりに関する事項

イ 符号

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
5	(1)	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. と The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up. という情報を正確に読み取ることができている。
- 【解答類型2】は、Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. という情報を読み取ることができているが、The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up. という情報を読み取ることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up. という情報を読み取ることができているが、Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. という情報を読み取ることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. と The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up. という情報を読み取ることができていないと考えられる。

設問 (2)

趣旨

「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項

イ 符号

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

② 言語の働きに関する事項

イ 言語の働きの例

(ウ) 事実・情報を伝える

(エ) 考えや意図を伝える

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
5	(2)	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、事実や情報を伝えている *This is a mountain in our city.* という英文を、考えを伝える英文であると読み取っている。このことから、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、事実や情報を伝えている *I went there this summer with my family.* という英文を、考えを伝える英文であると読み取っている。このことから、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、事実や情報を伝えている *We cleaned the place for about 30 minutes.* という英文を、考えを伝える英文であると読み取っている。このことから、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、*Everyone should bring their garbage back home.* という英文を、考えを伝える英文であると読み取っている。このことから、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができています。

英語 ⑥ 自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る

- ⑥ 次の英文は、友達のエイビッド (David) があなたに送ったメールです。メールを読んで、エイビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

Events on the Weekend	
Date	April 13, 2023 18:45
From	David
Hello. How are you? I'm excited to stay at your house this weekend.	
I hear your town has some events on the weekend. I want to join one of them with you. Which event is the best? We both love sports, music, and cooking, right? Let's choose from among them.	
I will arrive on Saturday afternoon. I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.	
I'm looking forward to seeing you soon.	

<p>1 Rugby Game</p>  <p>Let's watch together!</p> <p>Date & Time Saturday, April 15 9:30 a.m. - 11:30 a.m.</p> <p>Place Midori Park</p>	<p>2 Flower Market</p>  <p>You can buy beautiful flowers!</p> <p>Date & Time Saturday, April 15 9:00 a.m. - 4:00 p.m.</p> <p>Place Hikari Garden</p>
<p>3 City Orchestra</p>  <p>You can enjoy a wonderful performance!</p> <p>Date & Time Sunday, April 16 1:00 p.m. - 3:00 p.m.</p> <p>Place Tsubomi Hall</p>	<p>4 "Cook & Eat"</p>  <p>Let's enjoy cooking and eating!</p> <p>Date & Time Sunday, April 16 4:00 p.m. - 7:00 p.m.</p> <p>Place Cooking Room "Wakaba"</p>

(注) Market: マーケット Orchestra: オーケストラ

1. 出題の趣旨

日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

「必要な情報を読み取る」とは、複数の情報が含まれるまとまりのある内容の英語を読み、書かれていることの全てではなく、読み手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報などを読み取ることである。そのためには、書かれていることの全てを読み取ろうとするのではなく、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて必要な情報を読み取ったり、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるのか判断した上で読み取ったりすることが求められる。

本問では、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を読み取ることができるかどうかを把握するために、友達からのメールを読んで、相手が示した条件に合うイベントを選択する問題とした。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

- ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

読むこと

- (イ) 日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動。

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
6	1	1 と解答しているもの	
	2	2 と解答しているもの	
	3	3 と解答しているもの	◎
	4	4 と解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、相手から送られてきたメールを読んでいく中で、I will arrive on Saturday afternoon. という相手が到着する日時についての情報を読み取れておらず、相手が示した条件に合うイベントは Rugby Game であると判断している。このことから、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができていないと考えられる。
- 【解答類型2】は、相手から送られてきたメールを読んでいく中で、We both love sports, music, and cooking, right? Let's choose from among them. というお互いの好きなことからイベントを選ぶという情報を読み取れておらず、相手が示した条件に合うイベントは Flower Market であると判断している。このことから、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、相手から送られてきたメールを読んでいく中で、相手と自分の状況についての情報を読み取り、相手が示した条件に合うイベントは City Orchestra であると判断している。このことから、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができていると考えられる。
- 【解答類型4】は、相手から送られてきたメールを読んでいく中で、I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family. という相手が出発する日時についての情報を読み取れておらず、相手が示した条件に合うイベントは“Cook & Eat”であると判断している。このことから、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができていないと考えられる。

英語 7 文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉える

7 次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.

There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on *tatami* mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.

Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the *tatami* mats, their parents can become friends with each other.

I hope all of you visit our creative library in the near future.

(注) creative: 創造的な

not only ~, but also ...: ~だけでなく、...も

puppet: 人形 workshop: ワークショップ

connect: ~をつなぐ while: ~する間

(1) 英文中の () に当てはまる語 (句) として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 Like this
- 2 For example
- 3 Then
- 4 Second

(2) しおりさんが書いた英文の概要 (文章全体の大まかな内容) として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people.
- 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions.
- 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people.
- 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together.

1. 出題の趣旨

日常的な話題について、文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる。

「概要を捉える」とは、物語や説明文などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれることなく、登場人物の行動や心情の変化、全体のあらすじなど、書き手が述べていることの大まかな内容を捉えることである。概要を捉える際には、各パラグラフ内の構造を捉えることが重要であり、文と文との関係を正確に読み取ることは、その構造を捉えるために必要な技能の一つである。

本問では、図書館について書かれた短い文章を読むことを通して、概要を捉えることができるかどうかと、概要を捉えるために必要となる文と文との関係を正確に読み取る技能が身に付いているかどうかを把握することをねらいとしている。

設問(1)は、図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する問題である。文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかを把握するために出題した。

設問(2)は、図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する問題である。日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかを把握するために出題した。

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

読むこと

- (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。

2. 解説

設問 (1)

趣旨

文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項

イ 符号

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
7	(1)	1	1 と解答しているもの	
		2	2 と解答しているもの	◎
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型 1、3、4】は、空所の後に位置する *people can read books on sofas, on tatami mats or in the library cafeteria.* という英文が、空所の前に位置する *There are many kinds of spaces, too.* という英文の具体的な情報を示しているという文と文との関係を読み取ることができないと考えられる。
- 【解答類型 2】は、空所の後に位置する *people can read books on sofas, on tatami mats or in the library cafeteria.* という英文が、空所の前に位置する *There are many kinds of spaces, too.* という英文の具体的な情報を示しているという文と文との関係を正確に読み取ることができている。

設問（２）

趣旨

日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
7	(2)	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、概要を構成する上で主となる情報を過不足なく含んでいる英文を、文章全体の大まかな内容であると判断している。このことから、短い文章の概要を捉えることができていると考えられる。
- 【解答類型2】は、第2パラグラフと第3パラグラフの情報のみで構成されており、第1パラグラフに示されている文章全体の主題となる情報と第1パラグラフの主となる情報が不足している英文を、文章全体の大まかな内容であると判断している。このことから、短い文章の概要を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型3】は、第1パラグラフの主となる情報が不足しているとともに、第2パラグラフの内容についての具体的な情報を含んでおり、情報に偏りのある英文を、文章全体の大まかな内容であると判断している。このことから、短い文章の概要を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、第3パラグラフの情報のみで構成されている英文を、文章全体の大まかな内容であると判断している。このことから、短い文章の概要を捉えることができていないと考えられる。

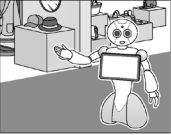
(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H31 ⁶	発表の活動のためにまとめられた100円シヨップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	63.7%	pp.30-31	pp.41-42

英語 8 短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く

8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I  could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?

□

(1) ブラウン先生が最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 We see many kinds of robots around us.
- 2 I saw a robot and it was working as a guide.
- 3 People will have fun if they live with robot pets.
- 4 Robots can change many people's lives for the better.

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

(注) plate: 皿 even if ~: たとえ~だとしても
apartment: アパート agree with: ~に賛成する

1. 出題の趣旨

社会的な話題について、短い文章の要点を捉えて、それに対する自分の考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。

「要点を捉える」とは、説明文などのまとまりのある文章を最初から最後まで読み、含まれている複数の情報の中から、書き手が最も伝えたいことは何かを判断して捉えることである。文章全体を読み通した上で、複数の情報を取り出し、どの情報とその説明の中で最も重要であるかを判断することが求められる。

また、「考えたことや感じたこと、その理由などを書く」とは、「聞いたり読んだりしたこと」の要点を捉え、自分が考えたことや感じたことなどを、その理由を交えて書くことである。その際、聞いたり読んだりした内容に関する賛否や自分の意見を述べたり、自分の意見や主張とその理由や根拠の関係を明確にしたり、内容を整理して述べたりすることなど、論点を明らかにしたり、順序付けを行ったりすることにより、読み手にとって分かりやすい文章を書くことが重要である。

本問では、社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかを把握するとともに、社会的な話題に関して読んだことについて、自分の考えとその理由を書くことができるかどうかを把握することをねらいとしている。

設問（１）は、ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する問題である。社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかを把握するために出題した。

設問（２）は、ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く問題である。社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかを把握するために出題した。

なお、本問は、平成 31 年度【中学校】英語⁸（正答率 11.6%）において、「書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えることができるかどうかをみる」ことに課題が見られたことを踏まえて出題した。

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

読むこと

(エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。

書くこと

(エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。

2. 解説

設問（１）

趣旨

社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

読むこと

ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答
8	(1)	1	1 と解答しているもの		
		2	2 と解答しているもの		
		3	3 と解答しているもの		
		4	4 と解答しているもの		◎
		99	上記以外の解答		
		0	無解答		

■解答類型について

- 【解答類型1】は、ロボットについて書かれた短い文章を読み、文章全体の話題について述べている (Today) we see many kinds of robots around us.が書き手の最も伝えたいことであると判断している。このことから、短い文章の要点を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型2、3】は、ロボットについて書かれた短い文章を読み、ロボットの事例について述べている I saw a robot and it was working as a guide.や People will have fun if they live with robot pets.が書き手の最も伝えたいことであると判断している。このことから、短い文章の要点を捉えることができていないと考えられる。
- 【解答類型4】は、ロボットについて書かれた短い文章を読み、ブラウン先生の考えについて述べている (As I explained,) robots can change many people's lives for the better.が書き手の最も伝えたいことであると判断している。このことから、短い文章の要点を捉えることができていないと考えられる。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H31 7	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	33.5%	pp.32-33	pp.43-44

設問 (2)

趣旨

社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

書くこと

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答	
8	(2)	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。 ② ①の理由を書いている。 ~~~~~ (正答例) ・ I agree with you. If robots do our housework, we will have more time. ・ I don't agree with you because people will lose their job.	
	1	条件①、②を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの	◎
	2	条件①、②を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの (正答例) ・ I agree with you. Robots give us <u>many</u> time. We can use the time for our hobbies. ・ I think so, too. A robot cleaner <u>clean</u> my room well. It's easy.	○
	3	条件①、②を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	
	4	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
	5	条件①に触れずに、与えられた話題について自分の考えのみを解答しているもの	
	6	条件①、②を満たさないで解答しているもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、文章の内容を把握し、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を正確に書くことができている。
- 【解答類型2】は、表現に不正確な部分はあるが、文章の内容を把握し、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書くことはできている。
- 【解答類型3】は、文章の内容を把握し、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書いているが、正しい語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

・ I agree with you. Robots a lot of time give me. (語順に誤りがある)

- 【解答類型4】は、書き手の意見に対する自分の考えを書いているが、その理由を書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

・ I don't think so. (書き手の意見に対する自分の考えのみを書いている)
・ I agree with you. Robots are dangerous. (内容が矛盾している)

- 【解答類型5】は、書き手の意見に対する自分の考えを書いておらず、与えられた話題について自分の考えのみを書いている。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- Robots give us a lot of time. We can use the time for our hobbies. (与えられた話題について自分の考えのみを書いている)

- 【解答類型6】は、文章の内容を把握することができていない、または自分の考えとその理由を示すために必要な表現が身に付いていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- I want a drone. (自分の欲しいものを解答している)

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H31 ⁸	食料問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	11.6%	pp.34-36	pp.45-48

英語 9 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書く

9

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A : I called you at eight last night.

B : Oh, sorry. I (do) my homework then.

〔答え〕 was doing

① <先生と生徒の会話>

A : Do you have any plans for summer vacation?

B : Yes. I (visit) my uncle in London.
I can't wait!

A : Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

A : Oh, you have a new watch!

B : Yes, I got it yesterday.

A : (buy) the watch?

B : At a department store near the station.

(2) 次の英文は、ある生徒が文書作成ソフトを使って、スピーチコンテスト (speech contest) についてスミス先生 (Mr. Smith) 宛てに書いた【メール文の下書きの一部】です。送信する前に友達に相談したところ、友達から【コメント】をもらいました。【コメント】にしたがって、下線部を書き直しなさい。

【メール文の下書きの一部】

Dear Mr. Smith,

How are you?

We have a speech contest next Friday.
The speech contest starts at 10:00.
You have to come to the speech contest.

【コメント】



この英文は、依頼する表現に修正したほうがよいと思う。

1. 出題の趣旨

文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くことができるかどうかをみる。

正確に書くためには、音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けておくことが重要である。本問は、文構造や文法事項、言語の働きなどの知識を活用し、正しい語順で文を構成することや、伝えたいことについての情報を正確に書くことができるかどうかを把握することをねらいとしている。

設問(1)は、与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる問題である。設問(1)①では、未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかを把握するために出題した。設問(1)②では、疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかを把握するために出題した。

設問(2)は、メールの英文を依頼する表現に書き換える問題である。コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて表現を使い分けるためには、そのための表現を理解しておく必要がある。ここでは、「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかを把握するために出題した。

2. 解説

設問（1）①

趣旨

未来表現（be going to）の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

書くこと

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

内容（1）英語の特徴やきまりに関する事項

イ 符号

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
9 ①	1	未来表現（be going to）の肯定文を正確に書いているもの (正答例) ・ am going to visit	◎
	2	未来表現（be going to 以外）の肯定文を正確に書いているもの (正答例) ・ will visit	○
	3	未来表現の肯定文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの (正答例) ・ Am going to visit / Will visit	○
	4	未来表現の肯定文を書いているが、誤りがあるもの	
	5	未来表現以外の肯定文を書いているもの	
	6	類型5までとは異なる肯定文を書いているもの	
	7	肯定文を書いていないもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、会話の流れから時制を判断し、あらかじめ決めておいた予定を伝える未来表現（be going to）の肯定文を正確に書くことができている。
- 【解答類型2】は、そのときに決めた予定を伝える未来表現（will）などを用いた表現となっているが、会話の流れから時制を判断し、未来表現の肯定文を正確に書くことはできていない。

- 【解答類型3】は、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるなど、表現に不正確な部分はあるが、会話の流れから時制を判断し、未来表現の肯定文を書くことはできている。
- 【解答類型4】は、会話の流れから時制を判断し、未来表現の肯定文を書くことは理解しているが、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- is going to visit (be 動詞の選択に誤りがある)
- will visiting (動詞の活用形に誤りがある)

- 【解答類型5】は、会話の流れから肯定文を書くことは理解しているが、時制を正しく判断して書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- want to visit (未来表現を用いていない)
- was visiting (過去進行形になっている)

- 【解答類型6】は、会話の流れから肯定文を書くことは理解しているが、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに課題がある、または問題の指示文を正しく理解できていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- visiting (動詞の活用に誤りがある)
- am going to invite (指定語を用いていない)

- 【解答類型7】は、会話の流れから肯定文を書くことを理解しておらず、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くこともできていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- am not going to visit (否定文の形になっている)

設問（１）②

趣旨

疑問詞を用いた一般動詞の２人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

書くこと

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

内容（１）英語の特徴やきまりに関する事項

イ 符号

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
9	(1) ②	1	疑問詞 where を用いて一般動詞の２人称単数過去形の疑問文を正確に書いているもの (正答例) ・ Where did you buy	◎
		2	疑問詞 where を用いて一般動詞の２人称単数過去形の疑問文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの (正答例) ・ where did you buy	○
		3	疑問詞 where を用いて一般動詞の２人称単数過去形の疑問文を書いているが、誤りがあるもの	
		4	疑問詞 where を用いているが、一般動詞の２人称単数過去形以外の疑問文を書いているもの	
		5	類型４までとは異なる疑問文を書いているもの	
		6	疑問文を書いていないもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型１】は、会話の流れから時制を判断し、疑問詞 **where** を用いて一般動詞の２人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができている。
- 【解答類型２】は、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるなど、表現に不正確な部分はあるが、会話の流れから時制を判断し、疑問詞 **where** を用いて一般動詞の２人称単数過去形の疑問文を書くことはできている。

- 【解答類型3】は、会話の流れから時制を判断し、疑問詞 **where** を用いて一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を書いているが、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- Where did you bought (動詞の活用形に誤りがある)
- Where you did buy (語順に誤りがある)

- 【解答類型4】は、会話の流れから疑問詞 **where** を用いて一般動詞の疑問文を書くことは理解しているが、時制を正しく判断することができていないか、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- Where do you buy (現在形になっている)
- Where you buy (did が欠落している)

- 【解答類型5】は、会話の流れから疑問文を書くことは理解しているが、疑問詞 **where** を用いて一般動詞の疑問文を書くことを理解していない、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに課題がある、または問題の指示文を正しく理解できていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- Do you buy (疑問詞 **where** を用いていない)
- Are you buy (be 動詞が混在しており、時制にも誤りがある)
- Did you (指定語を用いていない)

- 【解答類型6】は、会話の流れから疑問文を書くことを理解しておらず、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くこともできていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- You buy (肯定文の形になっている)

設問（２）

趣旨

「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

書くこと

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

内容（１）英語の特徴やきまりに関する事項

イ 符号

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

（３）言語活動及び言語の働きに関する事項

② 言語の働きに関する事項

イ 言語の働きの例

（㊦）相手の行動を促す

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
9	(2)	1	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書いているもの (正答例) ・ Can you come to the speech contest? ・ Could you come to the speech contest? ・ Will you come to the speech contest, please?	◎
		2	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解しているが、命令文を用いた表現となっているもの（please を文頭に用いているもの） (正答例) ・ Please come to the speech contest.	○
		3	依頼する表現を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの (正答例) ・ can you come to the speech contest?	○
		4	依頼する表現を書いているが、誤りがあるもの	
		5	類型 4 までとは異なる誤りがあるもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができている。
- 【解答類型2】は、命令文を用いた表現となっているが、「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、正確に書くことはできている。
- 【解答類型3】は、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるなど、表現に不正確な部分はあるが、「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を書くことはできている。
- 【解答類型4】は、「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を書いているが、基本的な語や文法事項等を理解して文を書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ Can you have to come to the speech contest? (語句の意味を理解していない)
- ・ Will you the speech contest? (動詞が欠落している)

- 【解答類型5】は、「相手の行動を促す」という言語の働きを理解して依頼する表現を書くことができていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ Let's go to the speech contest. (提案する表現を用いている)
- ・ Do you come to the speech contest? (依頼する表現以外の疑問文になっている)

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

書くこと

- (ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
10	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 学校生活（行事や部活動など）の中から1つ取り上げている。 ② 紹介する内容を一貫性のある文章で書いている。 ③ 25語以上の英語で書いている。 ~~~~~ (正答例) ・ Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs. [33 words]	
	1 条件①、②、③を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの	◎
	2 条件①、②、③を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの (正答例) ・ Our school has a school festival in October. In the festival, we have _ chorus contest and we practice hard. We want to win the gold <u>plize</u> . [26 words]	○
	3 条件①、②、③を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	
	4 条件①、②を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているが、条件③を満たさないもの（20語～24語の英語で書いているもの）	
	5 条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
	6 条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	
	7 条件③を満たさないで解答しているもの（解答類型4を除く）	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1】は、学校生活について紹介したいものを取り上げ、紹介する内容を一貫性のある文章で正確に書くことができている。

○ 【解答類型2】は、表現に不正確な部分はあるが、学校生活について紹介したいものを取り上げ、紹介する内容を一貫性のある文章で書くことはできている。

- 【解答類型3】は、学校生活について紹介したいものを取り上げ、紹介する内容を一貫性のある文章で書いているが、正しい語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

• We have a school festival in October. It's a chorus contest and we want to win practice hard every day. Many people are come to listen to our songs. [29 words]

- 【解答類型4】は、学校生活について紹介したいものを取り上げ、紹介する内容を一貫性のある文章で書いているが、25語以上の英語で書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

• Our school has a school festival in October every year. We have a chorus contest in the festival. We sing at Minami Hall. [23 words]

- 【解答類型5】は、学校生活について紹介したいものを取り上げ、紹介する文章を書いているが、話題が次々と変わったり、文と文との関係において適切さを欠いていたりするなど、一貫性のある文章で書くことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

• Our school has a school trip in May. We can enjoy a sports festival in September. Our school also has a chorus contest in October. [25 words]

- 【解答類型6】は、問題の指示文を理解できておらず、学校生活について紹介したいものを取り上げずに書いていると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

• My grandfather and my mother graduated from my school. They went to school by bike. My brother and I go to school by bus now. [25 words]

- 【解答類型7】は、学校生活について紹介するために必要な表現が身に付いていない、または問題の指示文を理解できておらず、学校生活について紹介したいものを取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書くことができていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

• I like baseball. I practice hard every day. [8 words]

(参考)

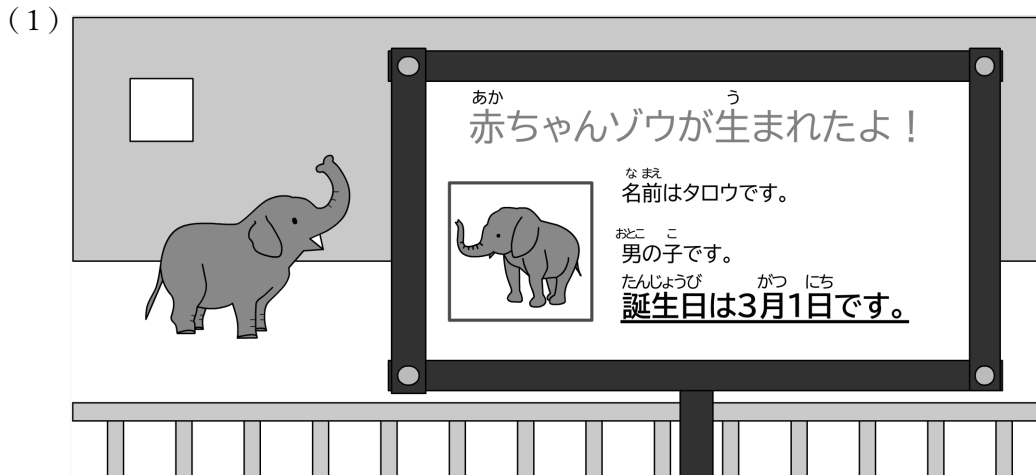
○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H31 ¹⁰	学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	1.9%	pp.49-51	pp.62-68

●話すこと

英語 1 即興で伝え合うとともに、考えとその理由を述べ合う

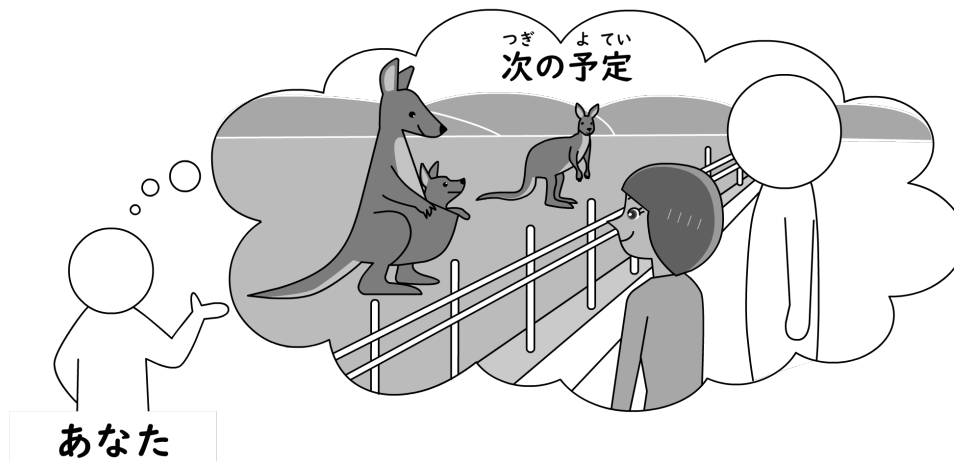
あなたは、オーストラリアからの留学生ソフィアのために動物園へ行く予定をたてました。今日がその当日です。会話が続いていくように、質問に答えたり、あなたの考えを伝えたりしましょう。指示がある場合は、その指示に従って答えましょう。問題は(1)から(4)まであります。解答時間は(1)から(3)が7秒、(4)が20秒です。それでは、始めます。



(スクリプト)

A baby elephant! How cute! ... I can read some Japanese. Its name is Taro... it's a boy... and, what does this say?

(2)



(スクリプト)

I was so excited to see the baby elephant. So, what are we going to do next?

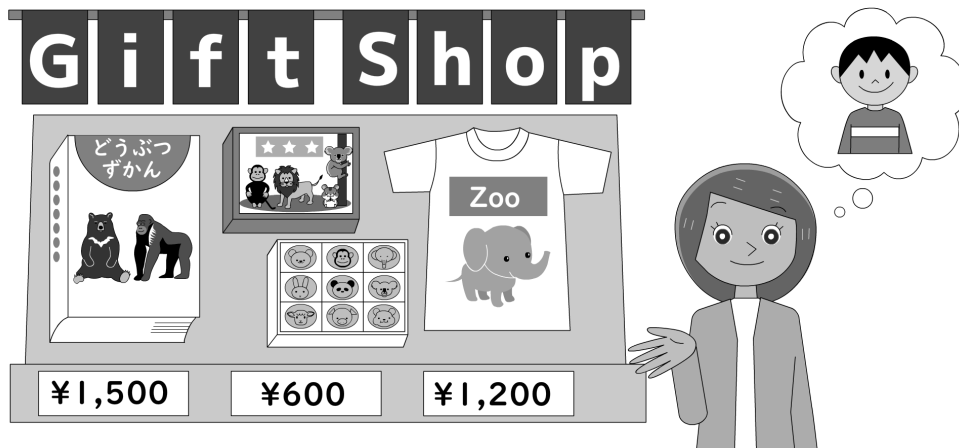
(3)



(スクリプト)

Look! Kangaroos! They are really famous in my country, Australia. I know a lot about them. Do you have any questions about kangaroos? Please ask me.

(4)



(スクリプト)

I want to buy a gift for my host brother. He is only 4 years old. Which one should I buy for him, a picture book, animal cookies or a T-shirt? And why do you think so?

1. 出題の趣旨

やり取りの場面において、次のことができるかどうかをみる。

- ・即興で伝え合うこと
- ・考えとその理由を述べ合うこと

「即興で伝え合う」とは、不適切な間を置かずに相手と事実や意見、気持ちなどを伝え合うことである。即興で伝え合うためには、音声や語彙、表現、文法や言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、話すことによる実際のコミュニケーション、特にやり取りの場面において活用できる技能を身に付けておくことが重要である。設問（1）、（2）、（3）では、それらの知識及び技能を身に付けているかどうかを把握することをねらいとしている。

また、考えとその理由を述べ合うためには、聞いたり読んだりしたことを基にやり取りを展開していく力を身に付けておくことが重要である。設問（4）では、そうした思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを把握することをねらいとしている。

設問（1）は、動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、ゾウの誕生日を伝える問題である。日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかを把握するために出題した。

設問（2）は、動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、次の予定を伝える問題である。未来表現（be going to）を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかを把握するために出題した。

設問（3）は、動物園でのやり取りの中で、カンガルーが食べるものについて留学生に質問する問題である。疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかを把握するために出題した。

設問（4）は、動物園でのやり取りの中で、留学生の質問を受け、お土産としてふさわしいものとその理由を伝える問題である。日常的な話題に関して聞いたことについて、やり取りの場面において考えとその理由を述べ合うことができるかどうかを把握するために出題した。

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

話すこと [やり取り]

(ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。

(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。

2. 解説

設問（1）

趣旨

日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

話すこと [やり取り]

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項

- ア 音声
- ウ 語、連語及び慣用表現
- エ 文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
1	(1)	1 看板の情報について正しい日付を用いて解答しているもの (正答例) ・ His birthday is March first.	◎
		2 看板の情報について正しい日付を用いて解答しているが、コミュニケーションに支障をきたさない程度の誤りがあるもの (正答例) ・ His birthday is <u>a</u> March first.	○
		3 看板の情報について正しい日付を用いて解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	
		4 看板の情報について解答しているが、情報量が不足しているもの	
		5 誤った日付を用いて解答しているもの	
		6 類型5までとは異なる誤りがあるもの	
		99 上記以外の解答	
		0 無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、日付に関する基本的な表現を理解し、正しい表現を用いて話すことができている。
- 【解答類型2】は、表現に不正確な部分はあるが、日付に関する基本的な表現を用いて話すことはできている。

- 【解答類型3】は、日付に関する基本的な表現を理解しているが、正しい語や文法事項等を理解して話すことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ He is March first. (主語の選択に誤りがある)
- ・ Her birthday is March first. (代名詞に誤りがある)

- 【解答類型4】は、看板の情報について話しているが、情報量が不足している。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ March first. (誕生日であるという情報が不足している)

- 【解答類型5】は、日付に関する基本的な表現を理解していないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ His birthday is March one. (序数を用いていない)
- ・ His birthday is May first. (日付の表現に誤りがある)

- 【解答類型6】は、相手からの質問を聞き取ることができていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ This is an elephant. (誕生日以外のことを解答している)

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H31「話すこと」 <u>1</u> (1)	カレンダーを見て、少女の誕生日を答える	27.3%	pp.52-57	pp.69-75

設問（２）

趣旨

未来表現（be going to）を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

話すこと [やり取り]

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

内容（１）英語の特徴やきまりに関する事項

ア 音声

ウ 語、連語及び慣用表現

エ 文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
1	(2)	1	次の予定について未来表現（be going to）を用いて正しく解答しているもの （正答例） ・ We are going to see kangaroos next.	◎
		2	次の予定について考えや意図を伝える表現を用いて正しく解答しているもの （正答例） ・ Let's see kangaroos next. ・ We will see kangaroos.	○
		3	次の予定について未来表現（be going to）または考えや意図を伝える表現を用いて解答しているが、コミュニケーションに支障をきたさない程度の誤りがあるもの （正答例） ・ We are going to see <u>kangaroo</u> next.	○
		4	次の予定について未来表現（be going to）または考えや意図を伝える表現を用いて解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	
		5	次の予定について未来表現（be going to）または考えや意図を伝える表現を用いずに解答しているもの	
		6	類型5までとは異なる誤りがあるもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、未来表現 (be going to) を理解し、正しい表現を用いて話すことができている。
- 【解答類型2】は、未来表現 (be going to) を用いていないが、考えや意図を伝える表現を理解し、正しい表現を用いて話すことはできている。
- 【解答類型3】は、表現に不正確な部分はあるが、未来表現 (be going to) または考えや意図を伝える表現を用いて話すことはできている。
- 【解答類型4】は、未来表現 (be going to) または考えや意図を伝える表現を理解しているが、正しい語や文法事項等を理解して話すことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- I am going to see kangaroos next. (主語の選択に誤りがある)
- You will kangaroos see. (語順に誤りがある)

- 【解答類型5】は、未来表現 (be going to) や考えや意図を伝える表現を理解していないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- We see kangaroos. (現在形で解答している)

- 【解答類型6】は、相手からの質問を聞き取ることができていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- I like kangaroos. (質問内容を踏まえていない解答をしている)

設問（3）

趣旨

疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用できる技能を身に付けているかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

話すこと [やり取り]

ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

内容 (1) 英語の特徴やきまりに関する事項

- ア 音声
- ウ 語、連語及び慣用表現
- エ 文、文構造及び文法事項

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答
1 (3)	1	カンガルーが食べるものについて正しく質問しているもの (正答例) ・ What food do they eat?	◎
	2	カンガルーが食べるものについて質問しているが、コミュニケーションに支障をきたさない程度の誤りがあるもの (正答例) ・ What food do <u>kangaroo</u> eat?	○
	3	カンガルーが食べるものについて質問しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	
	4	相手の発話を踏まえていない質問をしているもの	
	5	類型4までとは異なる誤りがあるもの	
	99	上記以外の解答	
	0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、カンガルーが食べるものについて正しく質問することができる。
- 【解答類型2】は、表現に不正確な部分はあるが、カンガルーが食べるものについて質問することはできている。

- 【解答類型3】は、カンガルーが食べるものについて質問しているが、正しい語や文法事項等を理解して話すことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ What food do they? (動詞が欠落している)
- ・ What do kangaroos eat food? (語順に誤りがある)

- 【解答類型4】は、相手の発話を踏まえずに質問をしていると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ What animal do you like? (留学生自身について質問をしている)
- ・ Are they famous in Australia? (留学生が既に話したことについて質問をしている)

- 【解答類型5】は、相手からの質問を聞き取ることができていない、または疑問文の特徴を理解していないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ Kangaroos are eating food. (疑問文になっていない)

設問(4)

趣旨

日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

話すこと [やり取り]

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

※「話すこと [やり取り]」における「ウ」は、「社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。」であるが、生徒の学習段階を考慮し「日常的な話題」に置き換えて出題した。

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型		正答	
1	(4)	1	相手からの質問に正確な英語（語や文法事項等の誤りが無い）で答えているもの （正答例） ・ You should buy a picture book. He can learn about a lot of animals.	◎
		2	相手からの質問におおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で答えているもの （正答例） ・ You should buy _ picture book. He can learn about a lot of <u>animal</u> .	○
		3	相手からの質問に答えているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	
		4	お土産のみを答えているもの または、お土産とその理由を答えているが、その理由がふさわしくないもの	
		5	類型4までとは異なる誤りがあるもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、相手からの質問を踏まえて適切に話すことができている。
- 【解答類型2】は、表現に不正確な部分はあるが、相手からの質問を踏まえて話すことはできている。
- 【解答類型3】は、相手からの質問を踏まえて話しているが、正しい語や文法事項等を理解して話すことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ I think a T-shirt is good. The baby elephant he can see. (語順に誤りがある)

- 【解答類型4】は、お土産としてふさわしい物を話しているが、その理由を話すことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ A T-shirt is good. (お土産のみを話している)
- ・ I think a T-shirt is good. I like elephants. (理由が不適切である)

- 【解答類型5】は、相手からの質問を聞き取ることができていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

- ・ He can study animals. (お土産について話していない)
- ・ Animals are cute. (動物全般について話している)

英語② 説明を聞いて、考えとその理由を話す

英語の授業で、ニュージーランドから来た留学生が環境問題についてのプレゼンテーションをしています。その発表やスライドの内容をもとにして、あなた自身の考えとその理由を英語で伝えましょう。1分間話す内容を考えたあと、30秒で話してください。メモを取ってもかまいません。それでは、プレゼンテーションを聞きましょう。



(スクリプト)

Do you buy plastic bags at the store? Or, do you use eco bags? Look at this picture. There are many plastic bags in the sea. It is a serious problem today. Now, look at this. I was really surprised to see this because over 25 % of people in Japan buy plastic bags at stores. In New Zealand, stores do not sell plastic bags and we take eco bags. Some people may say plastic bags are becoming more eco-friendly, but I recommend stores in Japan should stop selling plastic bags. What do you think?

1. 出題の趣旨

社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる。

「社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す」とは、社会的な話題に関して聞いて分かった情報を活用し、聞き手に話して伝えることである。その際、既習の表現などを駆使しながら、自分自身の考えや気持ちを理由などとともに話して伝えることが重要である。

本問では、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかを把握するために、環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える問題とした。

■学習指導要領における領域・内容

話すこと [発表]

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

話すこと〔発表〕

(ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。

2. 解説

解答類型

問題番号	解答類型	正答
2	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 話し手の意見に対する自分の考えを伝えている。 ② ①の理由を伝えている。 ~~~~~ (正答例) ・ I like your idea. Many people in Japan use plastic bags. We must change our actions to protect the environment like people in New Zealand. ・ I don't agree with you because a lot of stores in Japan sell eco-friendly plastic bags.	
	1 条件①、②を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの	◎
	2 条件①、②を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りが無い）で解答しているもの (正答例) ・ I agree with you. Today a lot of people have <u>eco-bag</u> . We don't need plastic bags at <u>store</u> . ・ I don't think so. I hope stores keep <u>to sell</u> plastic bags because we don't always have eco-bags.	○
	3 条件①、②を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	
	4 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
	5 条件①に触れずに、与えられた話題について自分の考えのみを解答しているもの	
	6 条件①、②を満たさないで解答しているもの	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、プレゼンテーションの内容を把握し、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を、正しい表現を用いて話すことができている。
- 【解答類型2】は、表現に不正確な部分はあるが、プレゼンテーションの内容を把握し、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を話すことはできている。

- 【解答類型3】は、プレゼンテーションの内容を把握し、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を話しているが、正しい語や文法事項等を理解して話すことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

・ I think so, too. Plastic bags we can buy at stores in Japan. (語順に誤りがある)

- 【解答類型4】は、話し手の意見に対する自分の考えを話しているが、その理由を話すことに課題があると考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

・ Your idea is good. (話し手の意見に対する自分の考えのみを話している)
・ Your idea is good. I don't want to protect the environment. (内容が矛盾している)

- 【解答類型5】は、話し手の意見に対する自分の考えを話しておらず、与えられた話題について自分の考えのみを話している。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

・ We use eco-bags more. (与えられた話題について自分の考えのみを話している)

- 【解答類型6】は、プレゼンテーションの内容を把握できていない、または話し手の意見に対する自分の考えとその理由を示すために必要な表現が身に付いていないと考えられる。具体的な例としては、以下のようなものが想定される。

(例)

・ I like shopping. (自分の好みを話している)

3. 出典等

環境問題についてのプレゼンテーションは、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会ウェブページの「プラスチック対策」を参考にした。

IV 解答用紙（正答（例））

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

■ 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ③ 英語 **オモテ**

解答欄はウラにもあります。

1 (1) ① ② ③ ④

(2) ① ② ③ ④

(3) ① ② ③ ④

2 ① ② ③ ④

3 ① ② ③ ④

4 ① ② ③ ④

5 (1) ① ② ③ ④

(2) ① ② ③ ④

6 ① ② ③ ④

7 (1) ① ② ③ ④

(2) ① ② ③ ④

8 (1) ① ② ③ ④

(2)

(例) I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.

※「組」、「出席番号」は、下の例のように記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。

例：1組の場合
組：

生徒記入欄		性別
組	出席番号	男 女
<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="0"/>	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="3"/>	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
<input type="text" value="4"/>	<input type="text" value="4"/>	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
<input type="text" value="5"/>	<input type="text" value="5"/>	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
<input type="text" value="6"/>	<input type="text" value="6"/>	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
<input type="text" value="7"/>	<input type="text" value="7"/>	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
<input type="text" value="8"/>	<input type="text" value="8"/>	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
<input type="text" value="9"/>	<input type="text" value="9"/>	<input type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女

【質問】※ 解答時間終了後に回答してください。

(1) ① ② ③ ④

(2) ① ② ③ ④

答案番号

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

■ 全国学力・学習状況調査 解答(回答)用紙 ③ 英語

ウラ

解答欄はオモテにもあります。

9 (例)

(1)

①

I am going to visit my uncle in London.

②

Where did you buy the watch?

(2)

Can you come to the speech contest?

10 (例)

Our	school	has	a	school
festival	in	October.	In	the
festival,	we	have	a	chorus
contest	and	we	practice	hard
to	win	the	gold	prize.
Many	people	come	to	listen
to	our	songs.		
				45

「話すこと」

問題番号	正答例
1 (1)	(例) His birthday is March first.
1 (2)	(例) We are going to see kangaroos next.
1 (3)	(例) What food do they eat?
1 (4)	(例) You should buy a picture book. He can learn about a lot of animals.
2	(例) I like your idea. Many people in Japan use plastic bags. We must change our actions to protect the environment like people in New Zealand.

V 点字問題（抜粹）

点字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、点字を使用して学習する児童生徒の情報取得の特性や点字による表現方法等を考慮し、児童生徒が調査問題で問われている内容及び解答に必要な情報を的確に把握し、問題の趣旨に沿った解答に臨むことができるように、例えば、次のような配慮を行っている。

(1) 問題文の記述及びレイアウト等について

必要に応じて、文章や図表等の記述を変更したり、提示する順序を入れ替えたり、ページ配置を変更したりするなどの調整を行う。

(2) 図やグラフの提示の仕方について

提示する情報の精選を行った上で、表に置換したり、必要かつ可能なものは点図（点を用いて示した図）で示したりするなど、提示方法の変更・調整を行う。

(3) 出題形式の変更及び代替問題について

児童生徒の学習内容や生活経験等を考慮し、通常問題の内容をそのまま点字化して出題することが適当ではない問題については、出題の趣旨等を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行う。

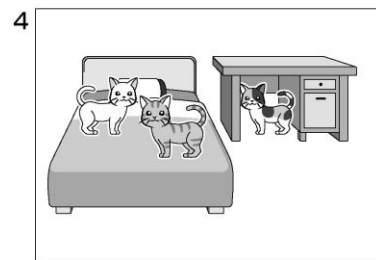
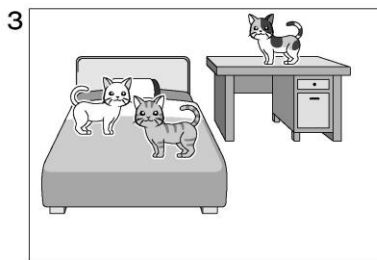
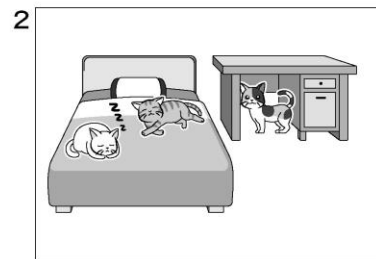
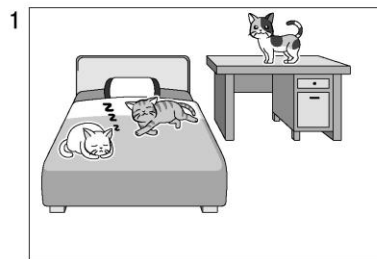
<点字問題における具体的な配慮例>

【通常問題】 1 (1)

1 (放送問題)

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(1)

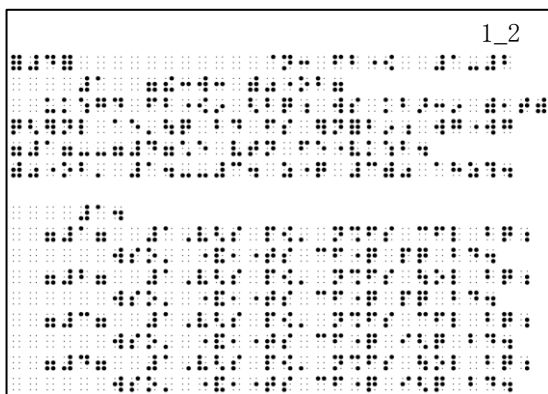


【点字問題】 1 1.

本問題では、主に次のような配慮を行った。

- 通常問題では、話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題となっている。しかし、点字を使用して学習する生徒にとって、選択肢である絵の内容を読み取ることが困難であるため、絵の内容を点字で端的に説明した。また、一度に選択肢を見ることができないため、選択肢を読む時間を設けるなど、あらかじめ、解答時間への配慮を行った。

<点字問題（墨点字版）>



<点字問題（活字版）>

1_2 1 (放送問題)

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵の説明を、それぞれ(1)～(4)から1つ選びなさい。問題は1.～3.まで3問あります。

1.

- (1) 1匹のねこは机の上において、
その他はベッドの上で寝ている。
- (2) 1匹のねこは机の下において、
その他はベッドの上で寝ている。
- (3) 1匹のねこは机の上において、
その他はベッドの上で起きている。
- (4) 1匹のねこは机の下において、
その他はベッドの上で起きている。

中英-2

【英語の点字縮約の使用について】

令和5年度英語調査では、英語の点字縮約を用いることとした。点字縮約とは、主として、読む速さ、特に黙読の速さを普通の文字を読む速さに近付けるために用いられているものである。(縮約語の例：but は b で示す。) 文部科学省著作の英語の点字教科書では、中学3年生までに点字縮約を7段階まで教えることになっている。別冊資料編には点字縮約の解説も掲載されている。全国学力・学習状況調査では、中学2年生までに学習する点字縮約の4段階まで用いている。

VI 擴大文字問題（拔粹）

拡大文字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、弱視児童生徒の見え方に伴う負担等を軽減するため、通常問題で使用しているA4判の用紙をB4判の大きさに拡大するとともに、以下のような配慮を行っている。

- (1) 原則として文字の大きさを22ポイントとし、UDデジタル教科書体とする。
- (2) 十分な字間及び行間等に設定する。
- (3) 必要に応じて、拡大率やレイアウト等を変更する。

<拡大文字問題における具体的な配慮例>

【通常問題】 7

<p>7 次の英文は、しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。これを読んで、以下の問いに答えなさい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too. We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also enjoy events like book talks, puppet shows, and workshops about making picture books.</p> <p>There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on <i>tatami</i> mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.</p> <p>Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also, while some kids are reading together on the <i>tatami</i> mats, their parents can become friends with each other.</p> <p>I hope all of you visit our creative library in the near future.</p> </div> <p>(注) creative: 創造的な not only ~, but also ~: ~だけでなく、...も puppet: 人形 workshop: ワークショップ connect: ~をつなぐ while: ~する間</p> <p style="text-align: center;">中英-13</p>	<p>(1) 英文中の () に当てはまる語(句)として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Like this 2 For example 3 Then 4 Second <p>(2) しおりさんが書いた英文の概要(文章全体の大きな内容)として最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 The library in the town is more creative than before. We can do a lot of things there. There are many kinds of spaces, too. The library can connect people. 2 There are many kinds of spaces in the library. People can relax and read books anywhere. The library can connect people. We can ask the library staff questions. 3 The library in the town is more creative than before. There are many kinds of spaces. In small rooms, people can study or work very hard. The library can connect people. 4 The library in the town can connect people. We can ask the library staff questions. Parents can become friends with each other while the kids are reading together. <p style="text-align: center;">中英-14</p>
---	--

7では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

- ・ 注のある単語に数字を付けたり、注のある単語と注を同じページ内に置くことで、注を参照しやすくした。

【拡大文字問題】

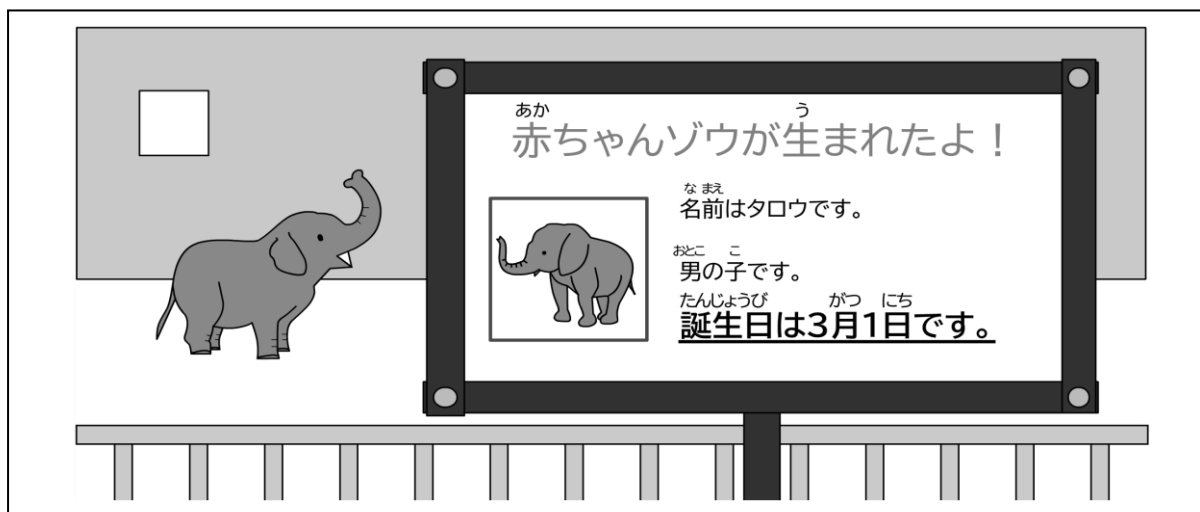
7

<p>7 27 ページからの英文は、</p> <p>しおりさんが英語の授業で「町の図書館」について書いたものです。</p> <p>これを読んで、30 ページから 32 ページの間に答えなさい。</p> <p style="text-align: right;">中英 - 26</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">※1</p> <p>Libraries today are more creative than in the past. The library in our town is more creative, too.</p> <p style="text-align: center;">※2</p> <p>We can do a lot of things there. We not only read books and watch DVDs at the library, but also</p> <p style="text-align: center;">※3</p> <p>enjoy events like book talks, puppet shows, and</p> <p style="text-align: center;">※4</p> <p>workshops about making picture books.</p> <p>(注)</p> <p>※1 creative: 創造的な</p> <p>※2 not only ~, but also …: ~だけではなく…も</p> <p>※3 puppet: 人形</p> <p>※4 workshop: ワークショップ</p> </div> <p style="text-align: center;">中英 - 27</p>
--	--

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <p>There are many kinds of spaces, too. (), people can read books on sofas, on <i>tatami</i> mats or in the library cafeteria. They can relax and read books anywhere. They can use small rooms for studying, meeting, or working.</p> <p style="text-align: center;">※5</p> <p>Our creative library can connect people. One of my friends likes making picture books now after he joined a workshop at the library. He sometimes asks the library staff questions about making picture books by email even now. Also,</p> <p>(注)</p> <p>※5 connect: ~をつなぐ</p> </div> <p style="text-align: center;">中英 - 28</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">※6</p> <p>while some kids are reading together on the <i>tatami</i> mats, their parents can become friends with each other.</p> <p style="text-align: center;">I hope all of you visit our creative library in the near future.</p> <p>(注)</p> <p>※6 while: ~する間</p> </div> <p style="text-align: center;">中英 - 29</p>
--	--

【通常問題】 「話すこと」 調査問題 ※イラストは動画の抜粋

1 (1)



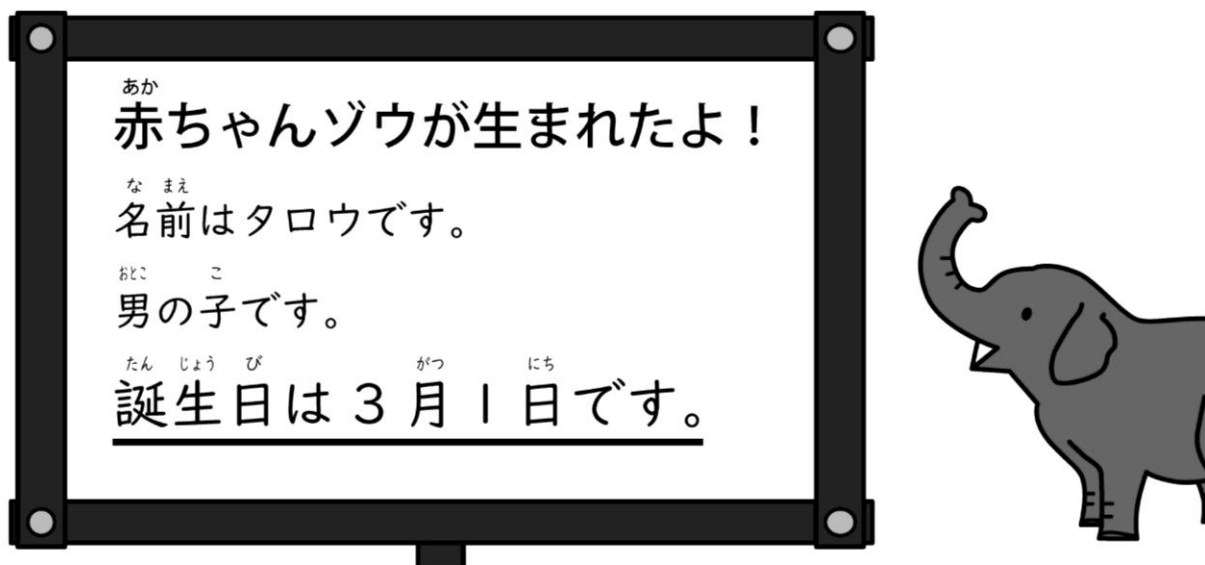
(2)



1 (1) (2) では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

- 1) 場面を想起しやすくするよう、設問ごとに「～している場面」と文言を入れた。
- 2) 背景の建物や柵、吹き出し中の山などのイラストを削除し、必要な情報を焦点化して示した。
- 3) 濃淡をはっきりさせることで、イラストを捉えやすくした。

(1) 赤ちゃんゾウの看板について話している場面



(2) 次の予定について考えている場面

